

# 黒潮

和歌山県看護協会 会報

第145号

平成30年10月発行

## CONTENTS

- 地区支部だより …………… 2～3
- ふれあい看護体験 …………… 4～5
- 和歌山県看護協会の災害への取り組み②  
（トピックス2018） …………… 6～7
- 第50回日本看護学会－看護教育－  
学術集会準備委員会委員長に就任して… 8
- 自施設での職員を対象とした  
禁煙への取り組み …… 8
- 地域連携のコーナー …………… 9
- ワークライフ・バランス推進ワークショップ  
「カンゴサウルス賞」を受賞して… 9
- 医療安全数珠つなぎ ……………10
- 訪問看護ステーションだより ……10
- リレーエッセイ 友達の輪 ……………10
- 男の時短料理 ……………10
- My School ……………11
- プレゼント ……………11
- キャリナース（お知らせ） ……………12
- 和歌山県看護協会の動き ……………12



表紙写真提供／広報委員



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 **和歌山県看護協会**

発行所 公益社団法人 和歌山県看護協会

発行人 古川 紀子

〒642-0017 海南市南赤坂17番地 TEL.073-483-1005 FAX.073-483-1266

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

### 和歌山県看護協会会員数

平成30年9月27日現在 登録者数

会員総数	6,090名
名誉会員	1名
保健師	138名
助産師	218名
看護師	5,555名
准看護師	178名



# 地区支部だより



## 伊都地区支部

支部長 糴谷 博子

平成 30 年度地区支部研修会を 6 月 30 日(土)に九度山町ふるさとセンターで開催しました。研修会の講師には、橋本市病院事業管理者 山本 勝廣先生をお招きし、「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセス」をテーマに講演していただきました。56 名の参加があり大盛況でした。

今後介護施設や在宅における看取りが増えることを想定し、本人が自らの意思を伝えられない状態となる可能性も踏まえ、本人の意思を推定し得る人も含めて、人生の最終段階における医療やケアの方針について繰り返し話し合うことの重要性を学びました。

今後も会員の期待する研修を企画する予定です。



## 那賀地区支部

支部長 藤本 美幸

6 月 16 日(土)に地区支部集会および研修会を開催しました。研修会では「心の“SOS”を見逃さないために～上手なセルフケア～」をテーマに、産業カウンセラーの遠藤瑞江先生を講師にお迎えしました。参加者数は、81 名で大変好評でした。

今回は、11 月 3 日(土)に「エンドオブライフケア」と題し、緩和ケア認定看護師の研修会を予定しています。各会員が「自分らしく死を迎える」とは?を考える機会にしたいと思います。



## 和歌山地区支部

支部長 廣瀬 朱実

6 月 23 日(土)地区支部集会ならびに第 1 回研修会を済生会和歌山病院で開催しました。

今年度の研修会では、昨年の熊本地震や南海トラフ地震発生を考え、「災害看護」とし、第 1 回目は「災害看護～災害に備えて自分たちが準備しておくこと～」というテーマで、講演会を行いました。災害に備えて何を準備していくか、それぞれの施設での課題が見えてきた研修会でした。

現在、9 月 8 日「まちの保健室」と 10 月 27 日の第 2 回研修会を企画中です。



## 海南・海草地区支部

支部長 楠岡 誠

平成 30 年度地区支部集会と第 1 回地区支部研修会を 7 月 7 日に開催しました。

研修会では藤原歯科 藤原修志先生をお招きし「口腔ケア・口腔リハビリの重要性」～口から安全に食べるために～と題した研修会を開催しました。

口腔ケアの重要性、舌の働きについて理解し、オーラルフレイルを予防するため、舌圧測定や口周り筋肉のマッサージの実演をして頂き、看護職は意識して口腔ケアに関わる事の大切さを学びました。





## 有田地区支部

支部長 松下 津也子

平成 30 年 6 月 16 日 (土)、有田地区支部集会及び研修会を開催しました。研修会は「皮膚・排泄ケア認定看護師に聞いてみよう!『創傷ケア』」と題して、和歌山県立医科大学附属病院の皮膚・排泄ケア認定看護師 関晃平先生に講演いただき、69 名の参加がありました。『創傷ケア』は、病院や施設で抱えている課題の一つで、参加者の関心も高く有意義な研修会となりました。

11 月 4 日 (日)には老人看護月間行事として、広川町健康祭りに参加を予定しています。



## 日高地区支部

支部長 小松 香世美

6 月 23 日 (土) 平成 30 年度地区支部報告会ならびに研修会を開催しました。

研修会は「知ってほしい、患者のホンネ～私たちはここがわからない～」と題して、一般社団法人らふ 代表理事の蓮尾久美先生にご講演いただき、64 名の参加がありました。患者の求めていることやホンネを知ることができ、何気ない会話の重要性を再認識する機会となり、好評でした。

11 月 18 日 (日)には老人看護月間行事として、「日高町ふれあい祭」に参加を予定しています。



## 田辺地区支部

支部長 鈴木 正代

平成 30 年 6 月 23 日 (土) 紀南病院講堂において報告会と第 1 回研修会を開催しました。

ひとりひとりに合わせた排泄ケアを ~高齢者だからと言って諦めない~ のテーマで NPO 法人日本コンチネンズ協会 有限会社 エルム 講師:今丸満美先生に講演を頂き 54 名の参加がありました。

排泄ケアは、生活全般の状況が関わってくる一番の健康のバロメータである。排便管理は、看護師の責任である、極め細やかな対応が必要だと学習しました。



平成30年度  
和歌山県田辺地区支部  
第1回研修会

## 新宮・串本地区支部

支部長 貴志 福子

8 月 4 日 (土) 第 1 回研修会を開催しました。テーマは「看護過程の展開を振り返ってみませんか?~今、臨床の現場で何が起きているのか~」講師は新宮市立医療センター看護師長濱地万里子先生をお招きしました。

43 名の参加があり、現場で看護を実践することの困難さや課題解決に向けての取り組み、記録の大切さ等を振り返る有意義な研修となりました。

11 月 4 日 (日)には老人看護月間事業として太地浦くじら祭りに参加予定です。



# ふれあい 看護体験



## 河西田村病院

### 参加者の感想

看護師の仕事が非常に大変で、忙しくしんどいことがわかった。笑顔で看護師の仕事をするのに2、3年かかると知った。コミュニケーション能力が必要だということ、覚える事がたくさんあって根気強くやらないと続けられないと思った。すごく看護師になりたいという気持ちと、私にもできるのかな、という気持ちがあった。

血圧をはかったり、ストレッチャーや車イスに乗る体験は楽しかったし、初めてやったこともあって良い経験になった。たくさんの患者さんや病気の種類があって、ひとり一人把握していかないといけないのはたいへんだけど、やりきったら達成感のある仕事だということがわかった。

(和歌山北高校・西田 麻希)

### 施設側の感想

緊張していた様ですが、洗髪体験を通して患者さんと関わり笑顔が見られ、「患者さんの生の声が聞けた」と感想がありました。看護のやりがいを感じてもらえ、貴重な体験になったと思います。

(根田 浩伸)



## 向陽病院

### 参加者の感想

実際に間近で看護師のお仕事をみて、処置はもちろん、患者さんとのコミュニケーションなどもみることができました。ナースステーションにも入ることができて、実際にしていることなどが予想以上に多くて驚きました。大変だとは思いますが、やりがいがあると思いました。

(向陽高校・前田 羽菜)

### 施設側の感想

5年ぶりに「ふれあい看護体験」に参加し、指導者も十分に看護体験してもらえたのかと心配していたところ「大変だけどやりがいのある仕事、立派な看護師になりたい」という感想に、看護師になる意思を一層強めてもらえたと嬉しく思いました。

(森 和美)



## 山本病院

### 参加者の感想

看護体験に行くまで知らなかった看護師の仕事近くで見ることができて良かった。あらためて看護の仕事をしてみたいと思った。

患者さんとのコミュニケーションをとることが大切だと分かった。シーツ交換をしたのが印象に残っている。ご飯を食べるのは部屋で食べると思っていたけど、食堂でみんなで食べていたのが雰囲気がとても良かった。これから看護師になるために勉強を頑張ろうと思った。

(笠田高校・高木 紗衣)

### 施設側の感想

同じ高校生2名の参加でした。看護師と理学療法士を目指しているとの事で、興味深く熱心に見学されていました。患者様達も若い高校生の訪問をととても喜ばれていました。シーツ交換を一緒に行いました。

当病棟は回復期リハビリテーション病棟であるため、患者様がリハビリを行っている風景を見学してもらいました。食堂での食事風景や、病院食と補助食の試食なども行い、楽しい時間を過ごしました。

(築摩 晴美)



私は今回の体験を通して、看護職の方や医療従事者の方はどの方も患者さんのことを第一に考えていて、優しい声かけや接し方を学ぶことができました。

実際に体験できることもたくさんあり、少し緊張したけどやさしく教えていただけてとても良い体験が出来ました。この体験を踏まえて将来自分のやりたいことを実現するために、また悔いのないように今のうちから一生懸命勉強していきたいと思いました。この夏休みという機会にとってもよかったです。  
(耐久高校・上門 義輝)

### 参加者の感想

## 有田市立病院

### 施設側の感想

昨今において、世間では医療ドラマが増え、医療現場における想像力も豊かになっていると考えられます。そんな中、今回「理想と現実」という観点で体験・見学して頂きました。体験者からは、「更に医療職を目指す志が強くなった」との意見が数多く聞かれ、安心したと同時に、我々にとっても「医療・看護」に対し再考できる良い機会となりました。  
(山本 純史)



立ち仕事で、常に足が動いていてとても大変だと思いました。それでも笑顔を決やすることなく仕事をして、すごいと思いました。1人1人とコミュニケーションをとり、患者さんから信頼を得ている看護師は本当に尊敬できるなと思いました。

### 参加者の感想

今日、看護体験をして自分自身、すごく力がついたなと思うことができました。患者さんと向き合うことだけでなく、きれいに過ごせるようにしてあったり、すごく細かいところまで気を配られてあつてすごいと思いました。自分も頑張って看護師になりたいとあらためて思いました。今日1日ありがとうございました。  
(箕島高校・小原 萌)

## 日高総合病院

### 施設側の感想

ふれあい看護体験での患者との関わりを通し、より看護師になりたいという気持ちを高めることができ良かったです。この体験を糧に、これから先も目標をしっかりとって学習し、看護師となった姿で共に働ける日を楽しみにしています。  
(玉置 梨恵)



< 各病棟の担当看護師と参加者 >

### 参加者の感想

私は産婦人科や内科で主に見学や体験をさせていただきました。普段だったら絶対に体験することのない、分べん台にのぼらせていただいたり、保育器の中の赤ちゃんを触らせてもらったりとたくさんの刺激を受けました。陣痛にたえているお母さんや保育器の中で一生懸命生きようとしている赤ちゃんを見ると、私も勉強して少しでも力になりたいと思いました。

内科の患者さんを見ることもあると知り、様々な知識と体力が必要だと感じました。

患者さんの症状を正確に覚え、足浴を行いながら爪の確認をするなど、自分で見て行動している姿がすごかったです。これからたくさん勉強して助産師として医療センターで働きたいです。(新宮高校・山縣 杏奈)

### 施設側の感想

「看護師になりたい」「まだ決めていないけど興味があり参加した」など、それぞれの思いを抱き看護体験に参加し、最後の懇談会では、全員が笑顔で「参加して良かった!」と、帰路についたことがとても印象的でした。  
(坂本 美弥)

## 新宮市立医療センター

## 公益社団法人和歌山県看護協会 災害対策委員会

### 1. 災害対策委員の活動

和歌山県看護協会では、有事に備え平成20年に災害対策委員会を発足し、活動は今年度で11年目となります。現在の対策委員は5名で構成され、委員全員が災害支援ナース指導者養成研修を修了しています。

主な取り組みとしては、災害看護研修の企画・運営と災害看護支援マニュアルの作成です。災害支援マニュアルは構想・検討を重ね完成しました。



#### 1 災害看護対策委員会の活動目標

- 1) 看護専門職の災害支援者として専門知識・技術を持った看護師を養成し、災害看護の質向上を図る
- 2) 災害看護支援体制の推進に努める

#### 2 活動内容

##### 1) 災害支援体制の充実・強化

主な活動は月1回定例の委員会を開催しています。災害支援体制の充実・強化のために、上記でも触れましたように、マニュアルは製本の段階です。校正が済み次第、印刷し各関連施設にも配布予定です。

和歌山県看護協会災害支援マニュアルポケット版の作成に取り組んでいます。これは、災害支援ナースの皆様が派遣の際、災害支援マニュアルを持参しなくても、必要な知識が分かるように、携帯サイズにしたものです。現在内容を検討中です。

災害の県内発生に備え、支援受け入れ体制の検討をおこなっています。平成23年度に起きた、台風12号による紀伊半島豪雨災害の時に、県内発生・県内対応のレベルIで、災害支援ナースが活動しました。今後も、豪雨災害や東南海地震を見据えた体制を検討しています。



▲ 災害委員会の様子

##### 2) 災害支援ナースの登録・推進

災害看護研修I（基礎編）・II（応用編）の企画・開催をおこなっています。この両研修を受講し、災害支援ナースの要件を満たした方は、登録が可能となり、現在171名の災害支援ナースに登録者していただいておりますが、有事の際の諸事情を考えると、まだまだ十分ではないため、より多くの方に登録していただきたいと思います。

また、災害支援ナース登録済みの方には、災害支援ナースの活動や役割を再認識し今後の活動に活かしてもらえるように、フォローアップ研修の企画・開催をおこなっています。今年度も、できるだけ多くの方に参加いただけるように紀北・紀南の2会場で開催予定です。是非ご参加下さい。

災害支援ナース登録者には、2年毎に再登録の意思確認をする事になります。今年の10月中旬に発送予定ですので、該当される方は継続申請をお願いします。



▲ 作成した  
「災害看護支援マニュアル」

## 2. 災害の豆知識 (和歌山県の災害予想)

和歌山県は昔から約 90 年から 150 年周期で繰り返し発生している南海トラフの地震により、過去にも大きな被害を受けてきました。また、中央構造線という断層帯が和歌山脈に沿って県を横断しています。いま想定される大きな地震は南海トラフの地震と中央構造線断層帯による地震などがあり、震度想定と津波状況は以下ようになります。

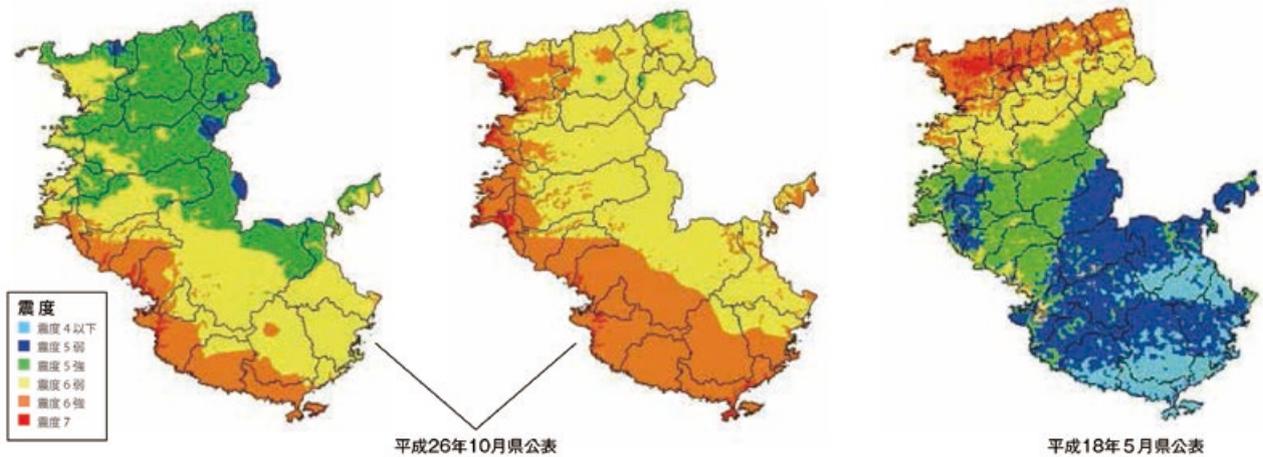
● 南海トラフの地震長期評価 平成30年1月現在 (地震調査研究推進本部発表)	
地震規模	M8~9クラス
30年以内の発生確率	70%~80%

(図1)

東海・東南海・南海 3 連動地震

南海トラフ巨大地震

中央構造線断層帯による地震

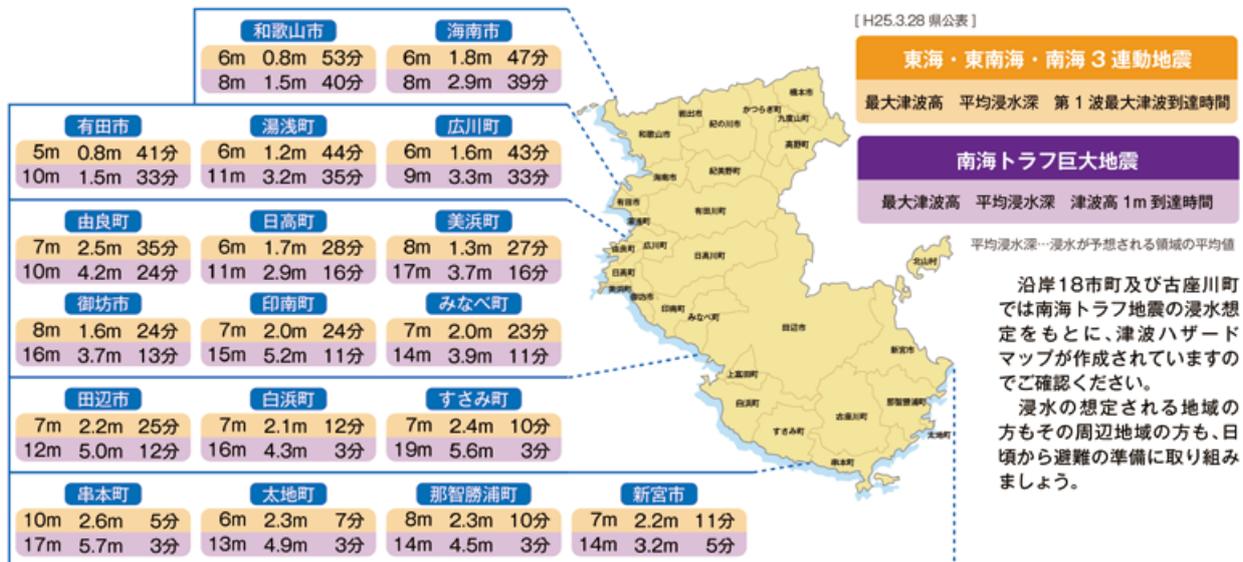


平成26年10月県公表

平成18年5月県公表

(図2)

### ■ 想定される津波の最大津波高・平均浸水深・到達時間



(図3)

\* 和歌山県総務部危機管理局危機管理課より引用 (図1、2、3)

和歌山県では、独自の『防災ナビアプリ』配信開始しています。スマートフォンをお持ちでない方は、こちらからの登録が可能です。

防災わかやまメール配信サービス  
[regist@bousai.pref.wakayama.lg.jp](mailto:regist@bousai.pref.wakayama.lg.jp)



★実際におこなわれている研修に関することは次回お知らせいたします★

## 第50回日本看護学会－看護教育－学術集会準備委員会委員長に就任して

和歌山県立医科大学保健看護学部 藤本 由美子

私が表題の準備委員会委員長の依頼をいただいたのは、和歌山に着任し2年が終わり少し落ち着いたところでした。さあ、これから和歌山のいろいろなところを歩き、探訪しようと計画を立て、行動を起こそうとしたまさにその時でした。このような私が全国の看護職を対象にした学術集会の準備委員長では相当な役不足、人選ミス、不適應などの思いでいっぱいでした。一方で、知らない私だから何か新しいことが見えることがあるかもしれない、と思うこともありました。このようにネガティブとポジティブな思いが交錯する中、2年間という短い期間でしたが和歌山の皆様に育てていただき多くの事を学ばせていただいたことを思うと、和歌山で開催される学術集会で少しでもお役に立てるような仕事をするのが恩返しに繋がるのかなと思いつつ学術集会準備委員会委員長を拝命しました。

本学術集会は50回という節目であり、また、新年号の改正の年に開催されることから、新しい時代の幕開けにふさわしい看護教育をデザインする基盤になるような学術集会をめざしたいと考えています。準備委員会委員の方々とともに学術集会のメインテーマを検討しました。人生100年に向かって看護の普遍的な「心」を基軸にした革新的な看護教育をめざす学術集会を和歌山の地から発信したい、という考えのもとにメインテーマを「紀の国から未来に翔けよう看護の心 ～人生100年時代に向かって看護教育を創造しよう～」としました。現在、メインテーマに基づいた基調講演、特別講演、教育講演、シンポジウム、交流集会などの企画を検討しています。



準備委員全員集合

第50回学術集会に先立って、8月16日～17日に広島で開催された第49回学術集会に準備委員会委員の方々と一緒に視察に行きました。8月15日は前日会場準備を視察し、16・17日の両日は当日運営を視察しました。学術集会の運営の実際をみるとともに、広島の準備委員の方や日本看護協会の方から運営方法の具体的な説明を聞くことができました。広島の特徴を活かした個性豊かな企画が多いと感じながら、プログラムと参加人数を推測した会場の設定、本部をはじめとした各控室、協力員の役割など和歌山での主催をシミュレーションすることができました。また、学術集会では和歌山から3題の発表があり、私たちも応援にかけつけ発表者にエールを送りました。



和歌山から3題の発表がありました

来年の－看護教育－学術集会は新時代の幕開けにふさわしい、和歌山の魅力が満載のプログラムとなるように準備委員一丸となって討議し、全国の看護職の皆様に来てよかったと思ってもらえるような学術集会を目指したいと思っております。多くの方にご参加いただきますように皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い致します。

会期：2019年8月8日（木）～8月9日（金）

会場：和歌山県民文化会館



第49回日本看護学会－看護教育－学術集会（広島）  
（開会式）



（基調講演）

## 自施設での職員を対象とした禁煙への取り組み

社会医療法人 黎明会 北出病院 看護部長 上平 絹代

喫煙による健康への影響は色々叫ばれています。日本では1990年代より禁煙外来が始まり、2006年には禁煙治療が健康保険適用になるなど、禁煙を推奨する動きがどんどん加速しています。

当法人黎明会は、「予防、医療、介護のユートピアを御坊・日高の地に創造し全国に発信します」という理念を掲げ、「健診センター」「メディカル＆フィットネスアクト」を法人内にあわせもち、予防医療にも力を注いでいます。さらに、職員の健康増進も重要であると考え、禁煙を推奨しようと

いうことを決定しました。敷地内禁煙、禁煙外来は既に開始されており、さらなる取り組みとして、禁煙手当の支給が決定しました。

平成23年に禁煙手当の支給が開始され、7年が経過しましたが、職員全員が禁煙を実行出来ているという現状ではありません。しかし、喫煙者から、「禁煙しようかな」という声が聞かれたりするなど、禁煙について考える機会を持つ取り組みとなっていると感じています。

禁煙手当が自己の健康管理をしっかりと考える契機となり、さらには周囲の人たちの健康管理へも働きかけができる黎明会職員が増えていくことにつながればと考えています。



## 地域連携のコーナー

### 独立行政法人 国立病院機構 和歌山病院 地域医療連携室



当院は、国の政策医療としての結核、重症心身障害、神経難病の診療と呼吸器疾患、循環器内科疾患、胸部・血管外科疾患の専門病院として地域に密着した「安心と信頼をいただける病院」を目指しています。病床数は、一般132床、重症心身障害児者163床、結核15床を有しています。

地域医療連携室は診療部長を室長とし医療相談係長をはじめ、社会福祉士2名、退院支援看護師2名を配置し、診察や検査の予約受付、転院や退院調整、紹介患者の受け入れ、患者・家族からの医療や福祉に関する相談等の業務にあたっています。

退院支援については、入院後早期に初回面談を行い、患者・家族の思いを汲みとり、病棟看護師を含めケアマネージャー、かかりつけ医、訪問看護師、サービス事業所等の各関係者間で連携を図り、退院前カンファレンス

を通して患者・家族が安心して在宅生活を送れるよう支援しています。

生活背景の問題については、独居、老々介護、過疎地在住など当圏域の地域性もありますが、十分な情報収集が退院支援の基本となります。患者が安全な生活を送るために何が必要かを常に考え、医療や福祉サービスについての情報を提示できるように心がけています。また、生活環境の確認のために退院前後に自宅を訪問させていただく場合もあります。

結核については、県内唯一の結核病床を有している為、地域の医療機関からの紹介患者の受け入れ調整を行い、退院後の治療中断防止に重点を置いた退院支援を行っています。在宅で長期療養・介護をされている方については、短期入院をご利用いただくシステムも導入しています。

## ワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ



有田市立病院 御前 有美

この度は、カンゴサウルス賞を頂き有難うございました。

当院は、離職予防・新規採用・復職支援をテーマに、H27年度から3年間参加させて頂きました。『働き続ける事が出来る病院を自分達で作ろう！YDK（やればできる子）』をキャッチフレーズに、3年間で計10名がワークショップで学びました。

指導者皆様のご指導に支えられ3年間の取り組みの結果、離職率は15%から3%まで低下し、採用募集の問い合わせも増加してきています。

今後も残課題に取り組みながら、自分達の目標とする病院を目指したいと思えます。

### カンゴサウルス賞を受賞して



宇都宮病院 看護師長 松岡 葉子

「看護の達成感が得られ、仕事への満足感が持続できる職場」をビジョンに掲げ、WLBに対する意識付けや看護業務の見直しを中心に3年間取り組みました。

病院としてWLBに応じた勤務手当の導入、離職率の低下や入職者が増えた事で働きやすい職場環境づくりの成果を感じています。

今後は看護部だけでなく多職種にもWLBを導入し、病院全体で職務満足感が得られる職場づくりを目指します。



和歌山生協病院 太田 智恵

ワーク・ライフ・バランスに3年間取り組み、平成30年カンゴサウルス賞を頂きました。

こだわりは、各現場から委員を選出し、課題を検討し現場で進めた事です。成果は、残業が減り、業務改善も進みました。各委員達が発信して実践した事から達成感が得られ、委員達の成長にも繋がりました。現在も活動は継続しています。

看護部全体でも取り組みを継続し笑顔あふれる、やりがいのある組織を目指して頑張りたいと思えます。

## 医療安全

### 数珠つなぎ



## 洗心会 玉置病院

北谷 厚子

当院は、医療・介護・人工透析を有するケアミックス型病院です。医療安全管理者4名が、毎月、全部署のラウンドやヒヤリハット・事故報告書の検討をしています。同じような事例が繰り返し報告されています。

昨年度より、各部署が自部署での医療安全目標を立て、年度末に評価を発表するという取り組みを行っています。成果をあげた部署が多く、今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。

次回号に紹介させていただく方は、  
田辺中央病院 絵名 由美子 様です

## 訪問看護 ステーション だより



## 訪問看護ステーション はなぶさ

管理者 辻 尚子

当ステーションは、H29年3月にかつらぎ町笠田に産声をあげました。

高齢化を迎えた現在、私が理想としている訪問看護は「健康寿命を延ばすことができるステーション」です。地域で働くことで、健康寿命という言葉の意味を考える機会になりました。利用者様の中には入院をきっかけに全身状態の管理目的で訪問看護を導入される方もいらっしゃいます。定期的な訪問で利用者様の様子が普段と違うことを感じ、早期に医療機関につなぐことができます。軽症なうちに入院することで入院期間も短くなり、ADLの低下なく退院できます。これは健康寿命を延ばすことにつながります。

現在は看護師5名（内1名助産師）、作業療法士1名、事務員1名で日々、看護で大切なものは何かを考え切磋琢磨しながら活動しています。今後も「訪問看護ステーションはなぶさ」をよろしくをお願いします。

## リレーエッセイ

## 友達の輪

Vol.61

訪問看護ステーション千  
堂脇 千鶴



訪問看護師になって1年、たくさんの方々に支えられた一年でした。病院では見られなかったご利用者さまやご家族の表情や想い、今まで歩まれてきた人生を自宅で目の当たりにし、看護の奥深さを実感する毎日です。その人の「過去」「現在」そして「未来（希望）」を「一本の線（せん）」の視点で、そのひとの思いを尊重した関わりを大切に、真摯に向き合う看護師でありたいです。そして日々支えてくれる仲間へ感謝！！

今回は、和歌山県立医科大学附属病院紀北分院の  
難病看護師 森本 衣里さんをご紹介します。

## 男の時短料理

## 第10回

## 「マグロのカルパッチョ」

和歌山県立こころの医療センター 山口 照之

### 材 料

- 赤身マグロ柵（お刺身でも可）
- 生ハム
- ベビーリーフ
- ミニトマト
- フライドオニオン
- ドレッシング
  - ・だし醤油 大さじ2
  - ・ふつうの醤油 小さじ1
  - ・オリーブオイル 大さじ2
  - ・酢 大さじ1
  - ・塩 ひとつまみ
  - ・黒コショウ・レモン汁など 好みで調整



### 作り方

- ① マグロは薄くそくように切り、お皿にならべる
- ② ベビーリーフやミニトマト、生ハムを盛り付ける
- ③ フライドオニオンを振りかける
- ④ ドレッシングをかける

### ポイント

ドレッシングは空き容器などに入れ  
しっかり振って混ぜてください

# My School

## 東京医療保健大学 和歌山看護学部



◀ 大学外観



「わかやま学」ゲストスピーカー  
和歌山県知事 仁坂吉伸氏 ▶

東京医療保健大学は、「いのち・思いやり・絆・愛」を尊重する心を持った医療人を育成するため、2005年に1学部3学科で東京の地に誕生した。2010年には東が丘看護学部（2014年に東が丘・立川看護学部に変更）が、2018年には千葉看護学部と和歌山看護学部が開設し、4学部6学科、2大学院、1助産専攻科を有する1学年の看護師養成数が最大の医療系大学となった。「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動と、寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神」を建学の精神に、すべての学部が地域の中核医療機関と連携して教育している。

和歌山看護学部は、和歌山県と市の強い要請で創設され、日本赤十字社和歌山医療センターと連携しながら教育を行う。地域とも密着した実習を行い、地域医療に貢献できるだけではなく、甚大な被害が想定される南海トラフ地震などの災害時の看護活動、国際的な救護

活動も可能な看護師の育成が目標である。そのため、幅広い教養と確かな知識、優れた看護実践能力に加えて、多様な状況に対応できる力を養う特色あるカリキュラムを準備して、開学を心待ちにした。

2018年4月、一期生104名が入学したが、100名が和歌山県内からの進学者である。志望動機は、「大学だから」「和歌山で学び、就職したい」「奨学金や特待生制度が魅力」など様々だが、学生は和歌山と大学が大好きで、大学行事への協力、サークル団体の結成、大学祭の準備等、和歌山看護学部の伝統を自ら創造していく困難さと楽しさを体験しているところである。学生だけではなく教職員も和歌山県出身者が多く、大学名に「東京」を含むが、和歌山県初の私立看護学部として、地域に愛され社会に貢献できる大学を、教職員と学生が一丸となって創っていきたいと考えている。東京医療保健大学和歌山看護学部をどうぞよろしくお願い致します。

### はじめまして、 東京医療保健大学 和歌山看護学部です

看護学科 教授  
福山 智子

### 看護学科1年生 谷口 茉由・水上 颯

私達は、様々な行事で教職員や同期生と交流するため、教職員や学生全員の顔と名前が一致するほど親しい。さらに、小学校を改築した校舎や備品が新しいので、学習環境が大変よく、楽しく大学生活を送ることができている。

また、教養科目は総合大学並みに豊富で、特色ある「わかやま学」は和歌山県の内情に精通する先生方の、「ボランティア論」は世界を舞台に活躍されている先生方の声を聴くことができ、授業も大変充実している。



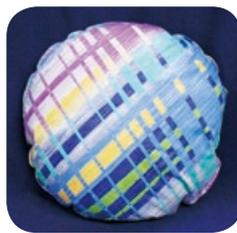
第31回

プレゼント!

はがきに ①希望の商品名 ②氏名 ③会員番号 ④郵便番号・住所 ⑤電話番号 ⑥勤務先名 ⑦本紙へのご意見・ご要望を明記の上、11月26日(月)までにお送りください。(消印有効・1人1通のみ) 抽選の上、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

宛先 〒642-0017 海南市南赤坂17

和歌山県看護協会 「10月号プレゼント」係



プレゼント  
応募者の  
声

「足まくら」を  
2名様に!

どちらか1つ  
当たります!

「クオカード」1,000円分を  
3名様に!

「フレッシュナース」のコーナーいいですね。希望にあふれていますね。

ご利用ください!

# キャリアース

会員のみなさまの  
キャリアアップを応援!

「キャリアース」は、経験を積んでキャリアアップを目指す、会員専用のWEBサービスです。



スマホから



会員専用ページ  
キャリアース

協会ホームページの  
バナーをクリック

パソコンから



<https://kaiin.nurse.or.jp/members/JNG000101>

## 登録するとできること

### 会員履歴

勤務先  
就労職種など

### 活動履歴

表彰履歴  
役員歴  
委員歴など

### 研修の 受講履歴

※ 和歌山県看護協会は  
2018年9月より

### スキルアップ のための 資料閲覧

- ・認定看護師教育課程の入試問題
- ・日本看護学会抄録集
- ・調査研究報告
- ・最新の看護関連図書の文献検索  
など

## 登録に必要なもの

- 1 就業中の職種（保・助・看・准）
- 2 就業中の看護免許番号
- 3 生年月日
- 4 和歌山県看護協会と日本看護協会の会員番号
- 5 メールアドレスと任意のパスワード



## 和歌山県 看護協会の 動き

### 平成 30 年度 第 5 回理事会

日 時 / 平成 30 年 9 月 21 日 (金)  
13:00 ~ 16:30  
場 所 / 看護研修センター 会議室 1

I. 【協議事項】  
なし

### II. 【報告事項】

- (1) 日本看護協会理事会報告
- (2) 日本看護協会主催会議報告
- (3) 担当理事報告
- (4) 県内関連団体会議参加報告
- (5) 会員数について
- (6) その他

## 東洋羽毛の 無料!! コーヒーサービス

東洋羽毛では、お世話になっている方々に無料コーヒーサービスを行っております。院内での師長会議・主任会議・ラダー研修会・研究発表会・勉強会等、地域や支部での看護部長会・看護研修会等での休憩時にホッと一息つきませんか？

どんな所でも無料で出張サービスさせていただきます



0120-88-2104



〔片隅にちょっとだけ、企業PRとしてお布団を置かせて頂いております。ご購入にも応じます。〕

東洋羽毛関西販売株式会社

お気軽に御利用ください。